

教科	商業	科目	商品開発と流通	単位数	小学科・学年	教科書
				2単位	地域ビジネス科 3年生	商品開発と流通（実教出版）
副教材	商品開発と流通（実教出版） 教科書準拠 問題集（実教出版）					
学習目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどとおして、商品開発と流通・プロモーションに必要な資質・能力を育成することを目指す。					

評価の基準・観点		
知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
商品開発と流通について実務に即して体系的・系統的に理解し、商品の企画からプロモーションまでの様々な場面で役に立つ商品開発に関する知識と、流通の立場から捉えた取引対象としての商品に関する知識を身に付けている。	商品開発と流通をはじめとした様々な知識や情報などを活用し、商品開発と流通の動向や課題を発見するとともに、ビジネスに関わる様々な立場に立って、妥当性と課題などの視点から、科学的な根拠に基づいて商品開発と流通に関する計画を立案したり、提案したりしている。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら商品開発と流通について学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、商品開発と流通に関する学習活動に責任をもって取り組もうとしている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・小テスト、提出物等</li> <li>・授業プリント等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テスト</li> <li>・小テスト、提出物等</li> <li>・授業プリント等、グループワーク、プレゼン発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト、提出物等</li> <li>・ノートの見取り、まとめ、発表</li> </ul>
評価の方法	授業における態度、意欲、出欠状況、発表会の取組、課題の提出、小テスト、定期考査等を上記の3観点に基づいて総合的に評価する。	

学 習 の 内 容（特色を含む）			
月		月	
4	Introduction 1. なぜ商品開発と流通は行われるのか？ 2. なぜ『商品開発と流通』を学ぶのか？	1 1	4章 商品の開発 1. 商品仕様と詳細設計 2. プロトタイプ
5	1章 商品開発と流通の概要 1. 私たちの生活と商品 2. 商品開発の意義と手順	1 2	3. 商品とデザイン 4. ブランド 5. 知的財産権の登録
6	3. 商品と流通との関わり  <b>第1期考査</b>		5章 商品の販売 1. 販売員活動 2. セールス・プロモーション
7	2章 商品の企画 1. 環境分析と意思決定の準備 2. 市場調査 3. 商品コンセプトの策定	1	6章 商品開発と流通に関わる新たな展開 1. 商品開発の新たな展開 2. 流通の新たな展開 3. 感覚を活かした商品開発・流通
9	4. 商品企画の提案	2	<b>第3期考査</b>
10	3章 事業企画の立案 1. 事業企画の概要 2. 価格計画 3. 流通計画 4. プロモーション計画 5. 事業計画書の作成		
		3	

担当者からのメッセージ及び特色
<p>1 授業では 「商品開発と流通」の基本的な実習を行います。</p> <p>2 家庭では 新聞・ニュースや買い物をするとき、「商品開発と流通」が日常生活と密着に関係していることに気づくようになります。</p> <p>3 その他 他者と理解し合い、他者と協力して課題解決を行う態度を学びます。</p>